

日本・フィリピン：ソーシャルワークの原点について学びあう

フィリピンNGOの障害児ケアとソーシャルワークの実践から



日本の社会福祉の中に介護保険が導入されて早 10 年近くになりました。ケアマネジメントがその方法論として席卷する一方で、ソーシャルワークの原点的活動の必要やソーシャルワーカーそのものの社会的位置づけと日常の実践のあり方が強調されています。

一方人口の約 4 分の 1 が貧困層であり、様々な社会福祉課題を抱えているフィリピンでは、個別支援に加え、「行政」、「NGO」、「住民（市民）組織」3 者が連携し協働推進を図っています。地域社会のエンパワメントを図りながら課

題を解決するため社会福祉実践が盛んです。ルソン島山岳地帯の障害児ケアとソーシャルワーク実践者を迎えて、障害児のコミュニティ・ケアの形成の様子に学び、ソーシャルワークの原点的活動とは何かを問いかけます。

【日 時】 4 月 12 日（日）午後 1:30～5:00（受付 13 時より）

【内 容】 第一部 鼎談（通訳あり）

鼎談者

Ms.Marie Bella P.Chulipa

JPCom 及び障害児リハビリテーションセンター・
ソーシャルワーカー兼プログラムコーディネーター
荒木 千晴

（社）日本社会福祉士会 主任、JPCom 会員

桑原 英文 JPCom 代表・事務局長

第二部 フロアとの対話セッション

第三部 JPCom の活動紹介とソーシャルワーク現
地研修の案内（予定）



【参加費】 1000円

【定 員】 180 名

【場 所】 龍谷大学深草学舎21号館201教室

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67、TEL 075-642-1111

交通アクセス

- JR「京都」駅から奈良方面へ「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約 8 分
- 京阪「四条」駅から淀屋橋方面へ「深草」駅下車、西へ徒歩約 3 分
- 地下鉄「京都」駅から竹田方面へ「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約 10 分

【主 催】 JPCom（Japan Philippines Community & Communication）

寝屋川市民たすけあいの会

【協 賛】 アジア人権基金草の根イベントサポート基金、龍谷大学短期大学部

【申込み・お問い合わせ先】

JPCoM 〒536 - 0014 大阪市城東区鳴野西 4-9-17-902

人数把握のため事前申し込みをお願いいたします。但し、当日参加可。

事前申し込みは

mail: jpcor@jpcor.info または、FAX: 06-6964-3399 まで、

氏名、郵便番号、住所、当日の連絡可能な電話番号を明記の上お申し込み下さい。

[鼎談者プロフィール]

●Ms.Marie Bella P.Chulipa

JPCoM 現地支部 JPCoM CARES 並びに Stimulation AND THERAPEUTIC ACTIVITY CENTER of BAGUIO, INC(STAC) (しょうがい児リハビリテーションセンター) のソーシャルワーカー兼プログラムコーディネーター。フィリピン・ルソン島北部中央山岳地帯ベンゲット州カバヤン町への障害児のためのアウトリーチプログラムを実施。

Benguet State University - Open University, Masters in Human Resource Development
Saint Louis University (SLU), Bachelor of Science in Social Work

●荒木 千晴

(社)日本社会福祉士会 主任、JPCoM 会員

阪神・淡路大震災時のボランティア活動を契機に社会福祉の道へ。国立フィリピン大学社会福祉・地域開発学部の大学院に交換留学、当事者やコミュニティのエンパワメントを中核としたソーシャルワークを学ぶ。兵庫県社会福祉協議会職員を経て、2005年より現職(国際社会福祉、成年後見担当)。

●桑原 英文

JPCoM 代表・事務局長

東京農業大学卒業後、NGO職員としてアジアの農村開発に従事。

2002年1月にJPCoMを設立。フィリピンのいずれもルソン島で、農村で村ぐるみで経済的自立を目指した起業や就労を支援、山岳部のしょうがい児の社会参加を支援するリハビリテーションセンターを運営や奥地へのアウトリーチを行っている。

95年8月から5年間兵庫県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターに勤務した。

阪神・淡路大震災以降の自然災害の被災各地で被災者主体の支援活動や、防災と福祉のまちづくり、福祉学習の推進に取り組んでいる。

JPCoM

フィリピンの人々と協働しながら、一人ひとりがいきいきと暮らすことのできるような様々なコミュニティ・ケアを行なう NGO です。ルソン島中部ヌエバエシア州では、農村の経済的貧困層の自立生活支援を、ルソン島北部中央山岳地帯では、障害児リハビリテーションセンターによる障害児のデイケアや、下記 JPCoM-CARES による奥地での障害児支援、保護者支援活動を行っています。

JPCoM-CARES (現地支部)

ルソン島北部中央山岳地帯 Cordillera Administrative Region のベンゲット州カバヤン町にアウトリーチしコミュニティ・ケアを推進しています。しょうがい児・者の把握とアセスメント、2008年6月2日に保護会 KAPSCI (Kabayan Association of Parents with Special Children, Inc)を発足し、保護者、自治体との関係づくり、月1回ペースの療育プログラムの実施を行なっています。CARES は、C=コミュニケーション、A=アドボカシー、R=リソース・モビライゼーション、E=エディケーション、S=ソーシャル・サービスの略。